

質の高い大学教育推進プログラム状況調査 現地調査報告書

特に優れており波及効果が見込まれる取組

学 校 名	筑波大学	取組学部等	全学
取組名称	筑波スタンダードに基づく教養教育の再構築		
申請区分	教育課程の工夫改善を主とする取組		
<p>●取組の特徴</p> <p>本取組は、筑波大学の学士課程の教育宣言「筑波スタンダード」に基づく世界水準を目指した教養教育の再構築に関する取組である。</p> <p>教養教育カリキュラムの再整備、T A制度の充実等による大学院生の教育能力向上のためのプログラムの構築により、教育の質向上を図るとともに、専門分野の枠を超えて幅広い知識を身につけた学生を育成することを目的としており、学長をトップとする全学的実施体制の整備の下、能動的学習ツールの活用などにより試行的に行う先導的科目を開設することで、取組を着実に実施することを目指している。</p> <p>●取組の成果</p> <p>先行する「筑波スタンダード」に加え、「教養教育スタンダード」の策定・公表を通じて、教養教育の必要性や理念・目標についての教職員の意識改革・認識共有が図られている。</p> <p>先導的科目の運営にT Aを参加させ、また、T A研修会とF D研修会を同時に実施することで、大学院生および教員における教育の質向上を図っている。</p> <p>先導的科目を開設し、授業における能動的ツールの活用、討論セッションの設置、eラーニングによる授業時間外学習の促進、レポート評価基準の導入などにより、多人数授業における能動的学習の実質化と成績評価の厳格化が図られている。</p> <p>先導的科目の授業運営に、T Aを企画段階から参加させることで、大学院生の教育能力・指導能力を向上させている。</p> <p>●大学等の教育への波及効果</p> <p>元来、新構想大学として、さまざまな改革について他大学の関心が強い大学であり、先導的な教養教育改革についても、注目が集まっている。例えば、他大学からの調査や講演依頼が年々増加するなどの事実があり、他大学への波及効果のあることが推測される。</p> <p>認証評価を受けた際に、優れた点の一つとして、本取組が評価されるなど、外部の有識者からも好評である。</p> <p>本件G Pに関する教養教育改革への取組や先導的科目の内容等について、印刷物として各種の資料が公表されており、W e b上の公開ともあいまって、今後も広く成果を公開していくことが期待される。</p> <p>●その他特筆すべき事項</p> <p>本取組は、筑波大学の教養教育改革のごく一部であると、大学当局は認識しているところから、この取組の継続は支援期間終了後も確実に実施されるものと考えられる。ただし、本取組に係る専任職員の非常勤化など多少の影響が観察されることから、実施体制については、さらに注意深く見守ることが重要である。</p> <p>また、本取組の長期的な効果については、さらに検証を行い、改善・発展を目指すことが期待される。</p>			